

# Weekly コラム

令和5年11月7日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 運転中信号待ちで・・・

あなたは、運転していて信号待ちの時や渋滞中にギアをD(ドライブ)のままにする、それともN(ニュートラル)にするどっち？

「AT車の信号待ちでシフトはDのまま待機かNやP(パーキング)を使用したほうがよいのか」ふと疑問に思いました。

結論的には、変わらずDにしたままフットブレーキで待機が最適ということです。その理由としては、基本的にはAT車は、快適で容易な運転を実現した装備であり、運転中は原則Dに入れたままの使用を想定して作られているからということです。耐久性の問題でも、近年の国産車であれば信号待ちでNを使用してもDのままであっても10万kmレベルで不具合が出ることは稀ということです。しかし、D→NやN→Dの操作を繰り返すとAT内部で動力伝達を司るクラッチの入力と切断が繰り返されることとなり、クラッチ部の摩耗が促進されるのに加えて、ミッションやドライブシャフトなどの駆動力を伝達する部品にも悪影響を及ぼしやすくなるということです。燃費的にも、アイドリングストップ機能の付いた車の場合、Nに入れるとアイドリングストップが解除されるので、燃費が悪化する傾向となります。それでも、Dのまま止まるとトルクコンバーターへ負荷がかかり燃費が悪化すると反論する方もいらっしゃいますが、近年の車はDで停車すると自動的にクラッチを切断し、Nに切り替わる「ニュートラルアイドル制御」または「ニュートラルコントロール」といった機能が搭載された車が主流となっているとのことです。

ではDでサイドブレーキは？私などはついやってしまいますが、これもサイドブレーキが緩くなったりすると危険なので、Dでフットブレーキが最適です。

レジャーなどで出かけると何十kmも渋滞が続くような環境に巻き込まれてしまうことがあります。そのような場合は、フットブレーキを踏み続けるのも疲れてきます。あまりにも車が動かないようであれば、Nではなく、Pを使い足を休ませてください。

車で出かけることが多くなる時期です。少しでも参考にさせていただければ幸いです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。